

●住宅の省エネ化を後押し！

●東北初！夜間連系太陽光発電所

＼インタビュー／



よしお
三浦宜央さん(42、小山田三丁目)

「住宅の省エネ化に以前から関心があり、昨年冷蔵庫の買い換え補助を利用しました。できることから始めることが重要で、省エネ機器更新補助もぜひ活用したいです」



住宅の省エネ化を促進するため、省エネ機器への更新に対する支援制度を新設します。

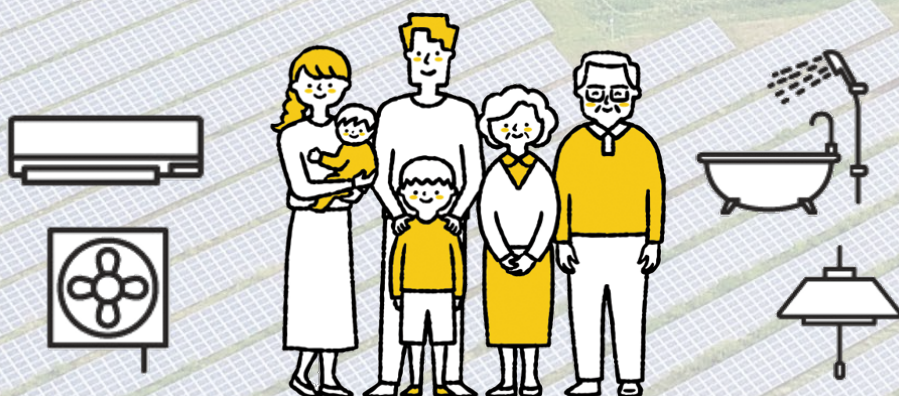
地産電源の確保を目指し、令和7年度の稼働に向け「夜間連系太陽光発電所」の工事をスタートさせます。

New!

住宅の省エネ機器への更新を補助 (環境課)

住宅の省エネ化につながる機器（空調、換気、照明、給湯）の更新を補助します。

補助率2分の1（上限50万円）



夜間連系太陽光発電所を整備

(エネルギー推進課)

地産電源の確保に向けた取り組みです。大型の蓄電池を併設し、日中に電気を蓄え、夜間などに電気を供給する発電所は東北初。事業主体である「田老発電合同会社」への資本参加、市民ファンドを予定し、地元参加型の発電事業を目指します。

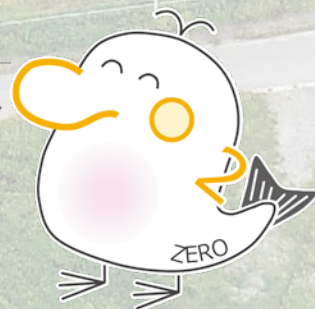
【資本参加】 6,000万円

【整備への補助金】
10億5,000万円

ほかにも、市民の皆さんの省エネ、再エネを後押しする事業があるボン♪
市ホームページ（右記QRコード）を確認するボン！



レッツ脱炭素！



宮古市地域脱炭素
イメージキャラクター「デカボン」

●旧キャトル跡地活用に向け対話を！

●末広町線無電柱化の総仕上げ

\\インタビュー/

旧キャトル跡地をどのような場所にしたいか、市民・民間事業者の皆さんと一緒にアイデアを生み出します。

末広町線は、安全性や利便性を高め、景観に優れた舗装整備を進めます。



「キャトルは小学生時代から毎週のように行っていました。皆が当事者意識を持って活用方法を議論し、子どもからお年寄りまで楽しめる場所になってほしいです」



佐々木真琴さん(27、崎嶇ヶ崎)

旧キャトル跡地活用を検討 (都市計画課) 2,000万円

【アイデアを生み出すイメージ】



【市民ワークショップ】

市民の意見

民間事業者の提案

市の考え方

重なり合う部分からアイデアを生み出す



【民間事業者のヒアリング】



【市の各種計画】

市道末広町線の無電柱化

(建設課)

4,000万円

【事業のポイント】

- ◆末広町区間を終日一方通行化
- ◆段差や電柱を無くし、歩行者の安全な通行を確保
- ◆車道空間を蛇行化させ、走行速度を抑制

→令和7年4月供用開始！



整備イメージ